

参加申込先 一般社団法人日本能率協会 JMAマネジメントスクール行 FAX. 03(3434)5505 TEL. 03(3434)6271(直通)
<https://school.jma.or.jp/foodsqm/> 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 <受付時間>月～金曜日9:00～17:00(ただし祝日を除く)

参加申込規定 DK

参加申込方法 (税抜)

参加セッション数	1セッション/1名	2セッション/1名	3セッション/1名	4セッション/1名
一般社団法人日本能率協会 法人会員	15,800円	28,300円	40,700円	50,000円
会員外	19,000円	34,500円	50,000円	62,500円

※テキスト(資料)・FOODEX JAPAN 2018無料招待券が含まれております。昼食はついておりません。
 ※本事業終了時の消費税率を適用させていただきます。
 ※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
<http://www.jma.or.jp/membership/>
 ※複数セッション参加でお申し込みの場合はセッション毎に交差参加ができます。ただし、FOODEX JAPAN 2018無料招待券は参加者1名に1枚となります。

参加申込方法
 申込書に必要事項をご記入のうえ、ファックスまたは郵送にてお送りいただくか、もしくは、ホームページよりお申し込みください。申込責任者へ参加証と請求書をお送りいたします。(それ以外をご希望される場合は、その旨参加申込書の「連絡希望事項欄」にご記入ください)
 電話による予約も承ります。その場合でも、正式の申し込みとして、必ず申込書をお送りください。
 参加証・請求書は開催1カ月前から発送いたします。
 なお1カ月以内のお申込みの時は、申込書受領後1週間ほどで参加証・請求書を送付いたします。
【会期間近に申し込まれる場合】
 あらかじめ電話にてご確認ください。(参加定員等の関係で参加できない場合があります)

参加料支払方法
 ・請求書が届き次第、指定銀行の口座にお振り込みください。お支払いは、原則として開催前日までにお振込みください。開催後になる場合は、お支払い予定日を申込書に記入してください。
 ・振込手数料は貴社にてご負担ください。

キャンセル規定
 参加予定の方のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。なお、代理の方もご都合がつかない場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
 (注)キャンセルの場合は、必ずファックスでご連絡ください。
 開催7日前(開催初日を含まず起算)～前々日 …………… 参加料の30%
 開催前日および当日 …………… 参加料の全額

ご注意
 1. 上記金額はご参加セッションのテキスト・資料代が含まれています。(テキストは当日、会場でお渡しいたします。ただし、社内データ等の講演資料は印刷物としてお渡しできないことがあります)
 2. セッション選択はお申し込み時に、ご決定ください。
 3. 会場内での携帯電話・PHS・おび録音機・ビデオ・カメラ・パソコン等の使用はご遠慮ください。
 4. お申し込んだ方にはセミナーインフォメーションをお送りする場合がございます。

免責事項
 天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねます。

※参加証・請求書は原則としてこの方にお送りいたします。それ以外をご希望の方は、【連絡希望事項欄】へご記入ください。(注)太線の枠内をご記入ください。

第14回 食品安全シンポジウム		開催期日	参加者区分
		2018年3月8日(木)～9日(金)	該当欄に✓印をご記入ください。 <input type="checkbox"/> 一般社団法人日本能率協会 法人会員 <input type="checkbox"/> 会員外 電話番号(市外局番からご記入ください) () FAX番号(市外局番からご記入ください) ()
フリガナ	フリガナ		参加されるセッションに ○印をおつけください。
会社名(正式名称)	事業所名		
所在地	〒		3/8(木) 3/9(金)
フリガナ	フリガナ		S1 S2 S3 S4
申込責任者名	所属役職名		JMA主催の関連催し物のメール配信 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
フリガナ	フリガナ		3/8(木) 3/9(金)
氏名	所属役職名		S1 S2 S3 S4
所在地	〒		JMA主催の関連催し物のメール配信 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
フリガナ	フリガナ		3/8(木) 3/9(金)
氏名	所属役職名		S1 S2 S3 S4
所在地	〒		JMA主催の関連催し物のメール配信 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
参加料	参加料	参加料	参加料
●参加者① 参加料 ()セッション ¥	●参加者② 参加料 ()セッション ¥	●参加者③ 参加料 ()セッション ¥	合計金額(税抜) ¥
【日本能率協会への連絡希望事項欄】		参加証発行日	請求書発行日
お振込み予定日 月 日		領 収 日	

法人会員入会のおすすめ
 小会法人会員にご入会いただくとセミナー参加料金割引などのサービスがございます。セミナー参加申込に併せて小会法人会員への入会を是非ご検討ください。
 詳細は→<http://www.jma.or.jp/membership/>

会場案内 幕張メッセ 国際会議場
 〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1
 TEL:043-296-0001(代)
【交通のご案内】 海浜幕張駅から徒歩 約7分



プログラム内容の問い合わせ先
 一般社団法人 日本能率協会 ISO研修事業部
 電話 03(3434)1242 (直通) Fax 03(3434)1243

個人情報のお取り扱いについて
 一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会の個人情報保護方針(<https://www.jma.or.jp/privacy/>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡およびJMA主催の関連催し物のご案内をお送りさせていただく際に使用させていただきます。

第14回 食品安全シンポジウム

会期：2018年3月8日(木)～9日(金)の2日間
 会場：幕張メッセ 国際会議場(千葉県千葉市美浜区)

参加対象

食品製造、フードサービス、食品流通・小売、包装材料、
 食品機械など食品関連企業の経営幹部、
 品質管理・品質保証、製造・技術、生産、研究開発、
 ISO、経営企画、リスクマネジメント部門の方々



同時開催
 The 43rd International Food and Beverage Exhibition
FOODEX JAPAN 2018
 国際食品・飲料展
 会期 2018年3月6日(火)～9日(金)
 会場 幕張メッセ 1～10ホール
<https://www.jma.or.jp/foodex/>

食品安全シンポジウムにお申込みいただくとFOODEX JAPAN 2018ご招待券(無料)もついてくる!! (通常は入場料¥5,000)
 (注)FOODEX JAPAN 2018は、商談を目的とした業界関係者向け(B to B)の専門展示会で、一般の方、16歳未満の方のご入場はお断りさせていただきますので、ご了承ください。
 また、このご招待券の特典は、食品安全シンポジウムへのお申込み・ご参加が前提です。

最新情報はWEBサイトでチェック!(お申し込みもコチラから)
 食品安全シンポジウム 🔍 検索 <https://school.jma.or.jp/foodsqm/>

参加申込書

食品安全シンポジウム

開催にあたって

食品に関わる企業において、安全と安心の提供は企業としての使命であり、最重要課題のひとつといえる。一方で、食品企業を取り巻く環境は、購買先・顧客(流通・小売)、消費者・行政・従業員・利害関係者・市場との間で急速に変化しており、継続的に“安全と安心の提供”を図るには、積極的に具体的な対応が必要である。

本シンポジウムでは食の安全・安心をテーマに、食品企業のさまざまな課題に対し、情報を共有化し、今後の取組みのあり方や方向性を探ることを目的に開催する。

1日目

2018年3月8日(木)

(敬称略) ● コーディネータ ☉ スピーカー 🗨 パネラー

セッション1 S1

加工食品の「原料原産地表示」義務化への対応

☉ 平野 展代 一般社団法人日本食品安全支援機構 理事長

10:00

食品の安心・安全は正確な表示が前提の一つと言える。2017年9月、加工食品に原料の原産地表示を義務付ける改正食品表示基準が施行された。経過措置を経て2022年4月から完全施行となる。完全施行後は、虚偽の原産地表示をした法人に1億円以下の罰金が科せられるなど罰則も強化される。一方、本基準の複雑さが消費者の誤解を招く又は監視の難しさを懸念する声も根強いことから、内閣府・消費者委員会の部会では、施行2年後をめぐり制度を見直すことも国に求めている。そこで本セッションでは、背景・事情が異なる様々な業界団体から原料原産地表示の課題を共有し、よりよい表示のあり方を討議する。

【パネル 業界の課題から考える原料原産地表示対策】

🗨 道免 昭仁 一般社団法人 日本食肉加工協会 管理部 部長

🗨 尾辻 昭秀 一般財団法人 日本冷凍食品協会 常務理事

🗨 藤原 真一郎 一般社団法人 日本乳業協会 常務理事

🗨 相川 雄司 水産食品衛生協議会 表示専門部会 事務局

13:00

🗨 中嶋 伊和夫 一般社団法人 全国清涼飲料連合会 技術部 部長

セッション2 S2

異物混入対策の最新事例

☉ 河岸 宏和 食品安全教育研究所 代表

14:00

本セッションでは、技術革新や新しい取り組みにより、大きく変わろうとする異物混入対策の最新事例について討議する。まず永谷園は異物の定義を広義に捉え、不良品を排除するためにチャレンジしている事例、ハウス食品グループでは異物バンクによる異物クレームの課題解決への事例を発表する。また、キューピーでは、日に100万個以上流れる原料を、目視検査し異物混入や不良品を確認することが増産化のネックだったが、AI(人工知能)を導入し成果を上げてきた事例などを発表する。

【永谷園の異物防止対策】

【講演要旨】 1. 広義でとらえる異物 2. 異物防止の3原則：持ち込まない・混ぜない・くい止める 3. アレルギーマネジメントも異物対策で防止

☉ 綾井 宣男 株式会社永谷園ホールディングス 品質保証部・執行役員 品質保証部長

【異物バンクによる新たな異物混入対策】

【講演要旨】 1. 異物バンクとは 2. 事前の再現試験による異物混入対策 3. 異物クレームの課題解決と展開

☉ 飯島 義之 株式会社ハウス食品分析テクノサービス 技術コンサルティング部 チームマネージャー

【食品会社における人工知能の活用 ～キューピーの人工知能を使った原料検査の取組み等～】

【講演要旨】 1. AI(ディープラーニング)の基礎知識 2. 目視検査からAI(人工知能)導入の背景 3. AI導入による課題解決ポイント 4. 今後の展開

17:00

☉ 荻野 武 キューピー株式会社 生産本部 次世代技術担当 次長

「食品安全シンポジウム」企画委員会



東京大学大学院
農学生命科学研究科 教授
中嶋 康博

- 委員長 中嶋 康博 東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授
- 委員 綾井 宣男 株式会社永谷園ホールディングス 品質保証部 執行役員 品質保証部長
- 山田 英明 日清製粉株式会社 取締役 品質保証部長
- 岩間 清 日本ハム株式会社 品質保証部 部長
- 森岡 勝彦 江崎グリコ株式会社 グループ品質保証部 部長
- 片岡 茂博 キッコーマン株式会社 上席参与 品質保証部長
- 亀井 誠 株式会社ニチレイ 品質保証部長
- 児玉 智郎 株式会社明治 品質本部 品質審査部長
- 佐合 徹也 ハウス食品株式会社 品質保証部 部長

- TAMILARASU SUPPAIAH 株式会社グリーンハウス 商品部 品質管理統括マネージャー
- 脊黒 勝也 一般社団法人日本食品添加物協会 安全性・国際委員 常務理事
- 上床 博明 東洋製糖株式会社 資材・環境 品質保証本部 品質保証部 担当部長
- 田中 宏治 雪印メグミルク株式会社 品質保証部長
- 山田 典彦 味の素株式会社 品質保証部 品質保証推進グループ長
- 花岡 豊 株式会社紀文食品安全センター 代表取締役社長
- 高橋 尚人 カゴメ株式会社 経営企画本部 品質保証部 部長
- 原田 雅己 サントリーホールディングス株式会社 品質戦略部 シニアスペシャリスト

2日目

2018年3月9日(金)

(敬称略) ● コーディネータ ☉ スピーカー 🗨 パネラー

セッション3 S3

食品安全の世界潮流

☉ 中嶋 康博 東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授

10:00

注目の「GFSI世界食品安全会議2018」が2018年3月に日本で開催され、食品安全の「最新トレンド」、「消費行動」、「ビックデータ活用」、「食品偽装」等のテーマでの討議が予定されている。一方食品安全規格が多様化するなか、ISO22000(食品安全マネジメントシステム国際規格)の、初めて上位構造(HLS)からなる改訂が目前に迫っておりこちらも関心が高い。そこで本セッションでは、キーマンから、世界食品安全会議直後の総括、及び食品安全規格の相互関係を明確にした上でISO22000の規格改訂ポイントの解説を通して、食品安全の世界的最新動向について討議する。

【速報】GFSI世界食品安全会議2018から新潮流を読み解く】

【講演要旨】 1. GFSI世界食品安全会議2018の総括 2. 食品安全の新潮流のポイント 3. 国内食品メーカーへの今後のインパクト

☉ 岸 克樹 GFSIジャパンローカルグループ議長
(イオンリテール株式会社 グループ品質管理部長)

【多様化する食品安全規格の相互関係と注目規格の改訂動向 ～ISO22000:201Xの改訂最新動向～】

【講演要旨】 1. 食品安全規格の相互関係の解説(ISO22000、FSSC22000、HACCP、GAP、ISO9001、JFS、グローバル・マーケット・プログラム等)
2. ISO22000改訂の最新動向

13:00

☉ 湯川 剛一郎 東京海洋大学 学術研究院 食品生産科学部門 教授
(ISO/TC34/SC17国内検討委員会委員)

セッション4 S4

FSSC22000認証取得・活用の新展開

☉ 山口 秀人 山口フードコンサルティング株式会社 代表取締役

14:00

本シンポジウムでは、毎年FSSC22000の認証取得事例を取り上げてきたが、取得企業の多くから異口同音に、「ハード対策で終わりではない」、「むしろトップのコミットメントや従業員の意識付け等のソフト面が重要」あるいは「既存のシステムとの効果的な融合をどう進めるか」等の課題に直面したと言う。そこで本セッションではダノンジャパンが、長年の運用から実践的課題とその対策について、FSSC22000バージョン4.1(食品偽装等)の対応も踏まえた事例発表を行う。またヤマトグループが、世界で初めての物流セクターでのFSSC22000認証取得事例を発表する。

【乳業メーカーで国内初の認証取得から6年、ダノンジャパンのFSSC22000活用事例】(2011年10月認証取得)

【講演要旨】 1. FSSC22000を取得してから判明した実践課題 2. 取得当初と比較して改善した事項(ハード面、ソフト面等) 3. 食品偽装への対応

☉ 後藤 茂治 ダノンジャパン株式会社 品質&食品安全部 シニアマネージャー

【物流分野で世界初の認証取得、ヤマトグループのFSSC22000活用事例】

【講演要旨】 1. FSSC22000認証取得の背景と目的 2. 物流分野における工夫・苦労点 3. 物流企業として、食品安全への貢献

17:00

☉ 加藤 祐二 ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社 国際戦略本部 課長